

市町村名	主要な文化財	調査委員
〃	岡崎賢樹宅	〃
塙町	白石義光宅	〃
〃	金沢正三宅	〃
矢祭町	藤田滋信宅	〃
西郷村	相川覚宅	〃
〃	海老名藤太宅	〃
〃	高久喜一宅	〃
泉崎村	石塚多治左エ門宅	〃
金山町	大悲堂聖観音	菊地貴晴

(2) 集落町並調査

① 目的

古様を示す建築が群となって存在し、集落、町並を形成している地域について、その保護施策を講ずるための資料を収集整備することを目的とする。

② 第1次予備調査

全市町村に依頼し、該当の有無を調査、14個所の報告あり。

③ 第2次予備調査

文部技官土田靖と文化課で下記4宿について、実地調査を実施。

ア、二本柳宿（安達町）

奥州街道合の宿

イ、滝原宿（岩瀬村）

岩代～会津舟津、追分峠に近い宿

ウ、三代宿（郡山市・湖南）

白河街道の主要宿

エ、大内宿（下郷町）

会津西街道の宿

(1) 文化財基礎調査

① 目的

本県の工芸品のうち金工品について、その実体はまだ不明な部分が多かったため、悉皆調査を実施して台帳を整え、保存対策の資料の一つとする。

① 対象

鰐口・銅鐘・燈籠・磬・雲板・御正体等

③ 時代

銘文のあるものにはすべて、下限は江戸時代まで。

④ 調査方法

第1次調査 昭和47年4月～6月 1,600件
90全市町村

第2次調査 昭和47年9月～10月 110件

第3次調査 昭和48年1月 20件

(3) 民俗資料緊急調査

① 目的

開発および生活の近代化によって伝統的な生活様式や風俗習慣が急変し、有形無形の民俗資料が急速に失われているので、全県の実態を調査し保護対策の基礎資料を作成する。

② 調査地域

第2年度、101カ所を追加調査

③ 調査員

秋山政一・和田文夫・遠藤輝之助・渡部至ほか68名又

④ 協力機関

福島県民俗学会（代表者 岩崎敏夫）

⑤ 調査事項

調査地概要・衣・食・住・生産・社会生活・信仰人の一生・年中行事・その他。

⑥ 調査の整理

マッピング図稿整理 三瓶源作

解説文 岩崎敏夫

(4) 民俗音楽調査

① 目的

伝統音楽は、民俗資料・音楽史資料として重要であるが、最近の激しい社会情勢の変容によって衰滅の危機にあるので、記録保存をはかり、現代音楽へ活用をはかる。

② 調査対象

未調査地域38市町村

③ 調査事項

所在調査、録音採取（200曲）、うち100曲採譜

④ 調査機関

福島県合唱連盟に依託

(5) 歴史民俗資料調査

① 目的

全国各地に所在する考古・歴史・民俗の資料を調査し、その保存活用の資料とするとともに、国立歴史民俗博物館（文化庁委託調査）〈仮称〉の基礎資料とする。

② 調査対象

文化庁が選択した歴史資料100点、考古資料20点、民俗資料370点 計490点

③ 調査員

岩崎敏夫、田中正能ほか7名

④ 調査期間

昭和47年10月～昭和48年1月

(6) 史跡指定調査

① 目的

歴史上重要な遺跡の、史跡指定を積極的に推進するための調査を行なう。

② 調査対象

関和久遺跡（泉崎村）

③ 調査指導

伊東信雄、岡田茂弘

④ 調査員

梅宮茂、田中正能、多賀城跡調査研究所員

⑤ 調査期間

昭和47年6月9日 現地打合せ会
7月～10月 航空写真図化
10月30日～11月15日 予備調査

⑥ 調査結果

礎石4、根石29カ所（建物3棟分）発見。来年度発掘調査を行なう。

(7) 東北縦貫自動車道遺跡発掘調査